

—宇都宮市保健所からのお知らせ—



健診は、もうお済みですか？

**年に1度は健診を受けましょう**



皆さんが健康で生き生きと生活できるように、市では様々な健康診査を実施しています。今、自分が健康であることを認識するために、また、病気の早期発見、早期治療のためにも、健診は大切です。

対象になる方

- \* 40歳以上の市民
- \* 子宮がん検診は20歳以上の女性・乳がん検診は30歳以上の女性です。

主な検診の内容

- \* 『特定健康診査』『胃がん検診』『肺がん検診』『大腸がん検診』『前立腺がん検診』『子宮がん検診』『乳がん検診』などがあります。

検診の受け方

- \* 個別医療機関での健診を希望される方は、医療機関へ問い合わせして下さい。
- \* 集団健診を希望される方は、回覧板・健康づくりのしおり・広報「うつのみや」「ホームページ」等で日程・会場を確認のうえ、健康増進課まで電話で申し込んで下さい。
- 『健診』についてのお問い合わせは、健康増進課（☎626-1129）にご連絡ください。

子宮頸がん予防ワクチンについて

市では、任意の予防接種である「子宮頸がん予防ワクチン」について、市内にお住まいの中学1年生相当から高校1年生相当（平成23年度は高校2年生相当まで）の女子を対象に接種費用の助成事業を実施しています。

助成期間が平成23年1月11日～平成24年3月31日と、限られておりますので、ご希望の方は、計画的に接種を受けましょう。

- 『ワクチン』についてのお問い合わせは、保健予防課（☎626-1114）にご連絡ください。

自治会加入のお誘いをしてください。

明るく住みよいまちづくりを推進するには地域の皆さんの協力が大切です。

皆さんのお近くで、新しく越してきた方や集合住宅に住んでいて自治会に未加入の方がいましたら、是非加入のお誘いをしてみてください。



編集後記

活動いただける方を求めています

寒さも和らぎ、花便りも日ごとに増えるこの頃、通学時の見守りの活動が定着していることもあり、自治会加入の照会が新入学児童を持つ世帯を中心に増えていますが、多様と異質が混在し、当たり前のように身近にある自治会も、この様に姿が見えることが求められています。

自治会の一員として、地域の広報紙を作ったり、役員同士の会話は、地域を知る機会にもなり、出会いは新鮮なもので、驚くことも多いはずですよ。

個々の価値観や常識を多様なものとして受け入れ、会費を納めるだけでなく、自治会にデビューし、新しい世界を広げませんか！



みんなの力で魅力ある自治会づくり

平成23年3月

自治連だより 第41号

発行：宇都宮市自治会連合会

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号

宇都宮市役所 みんなでまちづくり課内

TEL・FAX(兼用)(028)632-2289

(城山西小の孝子桜)

平成22年度自治会長大会を開催しました



心豊かなまちをつくるため、自治会長が一堂に会した「自治会長大会」を昨年11月27日、宇都宮市東市民活動センターで開催し、リーダーとしての研修と交流を深めました。

当日、佐藤市長からは、日ごろの自治会活動の苦勞に対する労いと感謝のお言葉をいただきました。また、永年自治会長として地域活動に取り組んでこられた60名の自治会長に対する地域自治振興功勞者表彰と顕著な自治会活動を進めている19自治会に対する自治会活動表彰が執り行われ、市長から表彰状が贈られました。（2頁に受賞者名を掲載しています。）



田中 雅博氏

現代医学は科学で、実験と観測から反証可能なことを取り扱います。

医師の専門は科学で、医師はこれまでに培ってきた医学により、患者の痛みを取り除くケアや延命治療を行います。

終末期医療には医学の他に精神的な面での苦しみをケアするスピリチュアルケアが必要で、これは医師では担当することはできません。患者だけでなくその家族や医療従事者においても精神的なケアが必要となります。

今の日本では宗教的支援を排除してしまっていますが、西洋においては宗教者がそのケアを担当しています。

患者は痛みと共に病気に対する不安感も持ちます。その不安な気持ちを少しでも取り除くことができれば病気に前向きに立ち向う原動力につながるのではないかと感じました。



その後、西明寺（益子町）住職の田中雅博先生の講演会が行われました。内科医でもある田中先生は診療所の他、介護老人保健施設やグループホームなどの福祉施設を運営され、その立場や経験から「高齢者医療と介護」と題した話を伺いましたのでご紹介します。



## ※地域自治振興功労者表彰

永年、地域活動に熱心に取り組んでこられた自治会長に対する、市長表彰制度で、地区連合会長を2年以上在任して退任された連合会長、自治会長を5年在任と11年在任した会長に贈られます。

### 【2年以上在任し、退任した地区連合自治会長】

仙田 隆彦 (国本)	藤谷 龍雄 (昭和)	鶴見 清 (城山)	計5名
大竹 泰二 (中央)	神山 光男 (上河内)		

### 【11年在任した自治会長】

石井 進 (睦町南)	大浦 定男 (星が丘西部)	新村 博 (末広1丁目)	計9名
石塚 剛庸 (戸祭西部)	島田 暢男 (寺町)	關 平 (峰向原)	
木村喜四郎 (日の出1丁目)	野澤 保雄 (西原宮隠)	茂木 武 (大和3丁目宮町)	

### 【5年在任した自治会長】

小林 光吉 (西台南)	益子 章 (南西原)	石川 裕夫 (道場宿町)	計46名
卯柳 玄重 (清原)	大田和 明 (氷室町)	星野 秀夫 (清原台5丁目)	
馬場 敬 (野沢北)	櫻井 宏 (野沢東)	小峯 隆藏 (南一の沢)	
添田 亘 (一の沢中央通)	上野 三郎 (鶴田町中部)	福田 修之 (鶴田町西部)	
指原 豊 (砥上団地町内会)	松田 一郎 (中島町)	五月女勤佑 (茂原団地)	
百目鬼 徹 (雀宮上町)	青柳 真喜 (下原)	杵淵 広 (宝木1の2)	
中島 正雄 (地区四丁目)	上田 憲一 (新川)	稲葉 博 (和尚塚南部)	
北野 茂 (山王団地)	亀田 弘造 (金井町)	手塚 浩一 (一条町二丁目)	
岡田 晃司 (歌の橋町)	丸山 哲夫 (末広町)	中山 剛夫 (十三町)	
野沢 秀熙 (大工町)	小川宣太郎 (清水町)	保坂 欣市 (東塙田四区)	
杉山 健夫 (上大曾町)	北原 勉 (滝谷町中部)	寺内 伸弥 (鶴田宮の原東部)	
夏葉 俱尚 (緑1丁目)	直井 一夫 (平松本町第2)	日下部 進 (平松町)	
徳田トシ子 (宿郷4丁目)	大境 忠 (中久保)	中山 弘 (今宮1丁目)	
平山 富久 (グリーンタウン)		松岡 信一 (大黒町)	
		坂本 昭 (西原川向)	
		岡本 俊男 (大曾1丁目)	
		若色 誠一 (宝野)	
		菊池 幸雄 (宮原4丁目)	
		須永 正 (岡本駅前一区)	



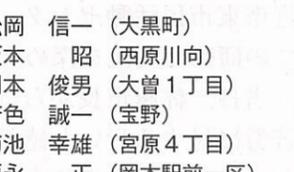
前地区連合会長表彰代表で受賞された神山氏



11年表彰代表で受賞された石塚会長



5年表彰代表で受賞された添田会長



自治会活動表彰代表で受賞されたニュー富士見ローズタウン 乙田会長

## ※自治会活動表彰

他の模範となり、日頃から地道な活動を継続的に実施している自治会に対し贈られる、市長表彰制度です。

西台南	泉が丘1丁目	恵比寿東	板戸町
氷室町	清原台3丁目	清原台5丁目	清原台6丁目
よろず町	末広1丁目	ニュー富士見ローズタウン	東塙田六区
上大曾町	東組	北原小原	戸祭グリーンヒル
東峰西	江曾島東	関白	

計19自治会



自治会活動表彰代表で受賞されたニュー富士見ローズタウン 乙田会長

## 栃木県自治会連合会 会長研修大会に参加しました。

1月27日、県自連加盟22市町の自治会長が集う、平成22年度会長研修大会が益子町町民会館にて開催され、元東京地検特捜部検事・堀田力氏の講演会と県知事・県自連会長から永年地域活動に功労された自治会長へ贈られる表彰状授与式が行われました。

宇都宮市関係では、26名の会長が受賞されましたのでご紹介します。

今後も更なるご活躍とご健闘をご期待申し上げます。

### 【県知事表彰】 (自治会長在任20年以上) 敬称略

山口 俊雄 (江曾島3丁目)	美野輪義光 (宿郷町1丁目)	計2名
----------------	----------------	-----

### 【県自連会長表彰】 (自治会長在任10年以上) 敬称略

鈴木 芳男 (今泉東)	石塚 秀男 (宿郷東)	古澤 勝司 (清原台3丁目)	横山 和夫 (桜2丁目)
小林 博彦 (西原仲町)	菊地 國雄 (宿郷5丁目東)	土田 富夫 (築瀬9丁目)	浅野友三郎 (二里山)
坂井 治夫 (今小路)	塚田 昌弘 (松原東部)	斎藤 登 (戸祭二丁目)	竹之内英明 (中戸祭二区)
堀井 毅 (和尚塚三丁目)	池嶋 邦男 (境町)	小野 栄司 (池上町)	岩淵 甫夫 (今泉町8丁目東)
齋藤 洋三 (菊水町西部)	上田 恵造 (宮島町)	糸井 明洋 (鶴田東部第4区)	中島光一郎 (鶴田三の沢東)
渡邊 秀洋 (川向5丁目)	佐藤 尚男 (築瀬10丁目)	近藤 保 (奈坪二区)	舟本 義雄 (岡本駅前二区)

計24名



## 頑張っています!

## 自治会 いろいろ♪

### —全住民の参加でゼロからのまちづくり— みやのもり自治会

みやのもり自治会は、平成16年に新興住宅地の自治会として新規に発足したため、まちづくりをゼロから始めました。住民の全員参加とふれあいをモットーに、住みよいまちとなるよう様々な活動を松尾光雄自治会長を中心に、積極的に行っています。

挨拶運動や防犯パトロール、地域内9箇所に設置した「不審者情報ボード」、「携帯電話による緊急連絡システム」などの事業は、『みやのもり式防犯システム』として県の防犯モデル指定になっています。その効果は空巣被害等が姿を消し、住民が安心して暮らせるまちとなっています。

その他まちづくり運営のノウハウは住民のニーズを吸い上げて「5つのみやのもり方式」としてシステム化し、持続性が保たれる仕組みとなっています。

これらの活動により、昨年11月には活力ある地域づくりに取り組んでいるとして、下野新聞社「下野ふるさと準大賞」を受賞しました。この賞を励みにし、地域活性化の輪を広げ更に住みよいまちとなるよう活動をしていきたいと思ひます。



楽しいふれあい親睦会

### —多くの住民参加の行事は、地域力を高める— 緑4丁目自治会 会長 小栗 秀夫

私たちの自治会は、地域の絆を大切に心豊かで安全・安心なまちづくりを目指して活動しています。そのためには住民が一体となり、地域力を高めることが重要と、自治会加入促進を重点目標に掲げ活動しています。

毎年、会員台帳整理のための会員調査と加入促進活動への協力を会員にお願いしています。また、班長へは加入・未加入世帯を判別した地域の地図を渡し、未加入世帯へ自治会活動の紹介やチラシを配布するなど、啓発に努めてもらっています。

地域の課題解決には住民の総意が必要で、その役割を担うことができるのは、そこに住む全ての住民が参加する自治会です。住民に応える活動や高齢者の福祉充実のためにも、更に会員が増え、多くの住民が参加し、絆を大切にしたまちづくりを実現したいと思ひます。



仲間同士の会話は、はずみです

### —自治会住民は一つの家族— 大塚自治会 会長 増淵 昭

平成18年4月に「大塚自治会安全安心の誓い」を基軸とした三本の柱を推進するスローガンを作成いたしました。これは、連帯感溢れ、安心して暮らせる地域づくりを目的としたものです。

- 1 『会員参加型の安全安心大塚づくり』
- 2 『住まいと子どもの安心確保づくり』
- 3 『健全で魅力ある集落づくり』

このスローガンに沿って、「花いっぱい運動」や散歩時間を登下校時に振り替えた子供たちの見守り活動、「大塚自治会フェスタ」等を各種行っています。これらの事業を通じ、絆や感謝の気持ち・尊敬と親しみ、また近所付き合いの重要性が再認識され、自治会への愛着心を深めることができ、目標に近づいています。

自分達の自治会は自分達で住み良くしようと、ビジョン「大塚自治会住民は一つの家族」をただ今醸成中です。



「花いっぱい運動」サギソウの自生地植付



訪問健康確認事業